

北九州港 新門司地区 複合一貫輸送ターミナルの整備

ターミナルを整備することにより、輸送距離及び輸送時間が短縮され、輸送コストの削減が図られる。

Without時：博多港を利用

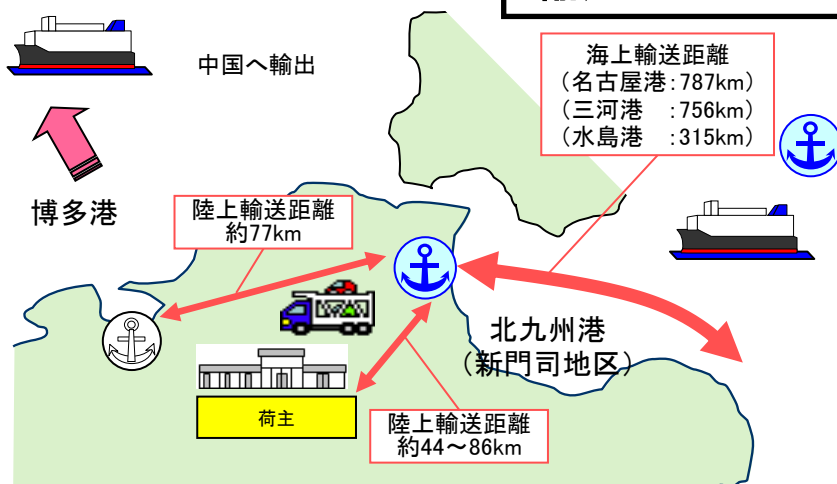
主な貨物：完成自動車

輸送コスト **352.3**億円/年



With時：北九州港(新門司地区)を利用

輸送コスト **325.4**億円/年



輸送コスト削減額 **26.9**億円/年

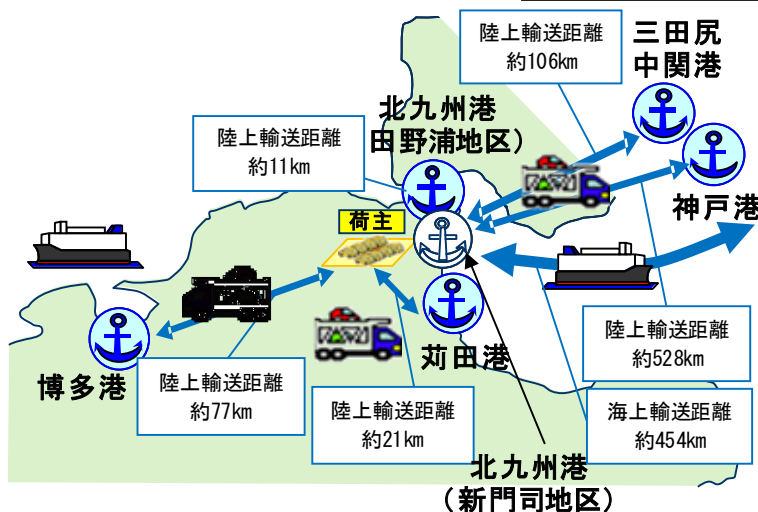
北九州港 新門司地区 複合一貫輸送ターミナルの整備

ターミナルを整備することにより、輸送距離及び輸送時間が短縮され、輸送コストの削減が図られる。

Without時：北九州港(新門司地区)、博多港、下関港、三田尻中関港、神戸港を利用

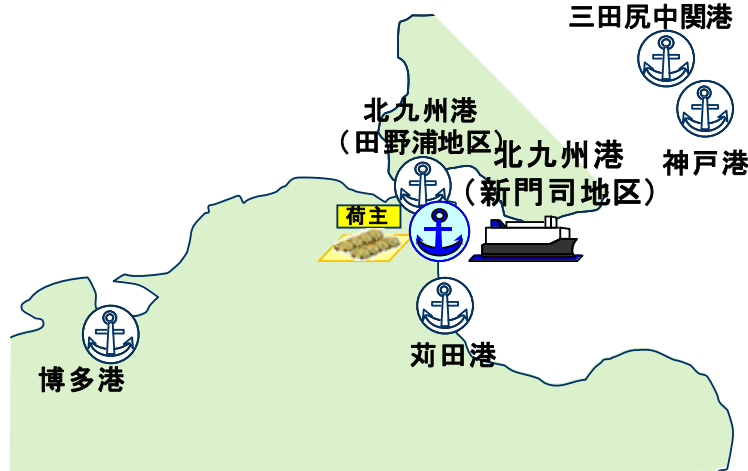
主な貨物：中古自動車

輸送コスト **1.9**億円/年



With時：北九州港(新門司地区)を利用

輸送コスト **0.0**億円/年



輸送コスト削減額 **1.9**億円/年

北九州港 新門司地区

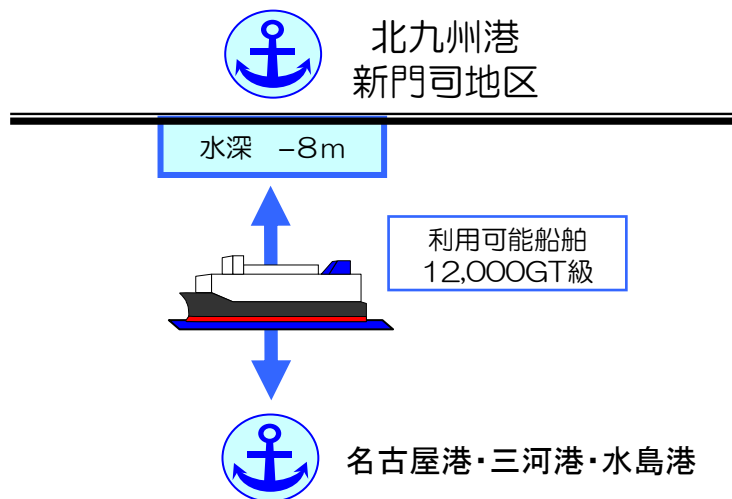
複合一貫輸送ターミナルの整備

航路・泊地を増深(水深10m)することにより、大型船舶による効率的な輸送が実現し、海上輸送コストの削減が図られる。

Without時： 12,000GT級船舶を利用

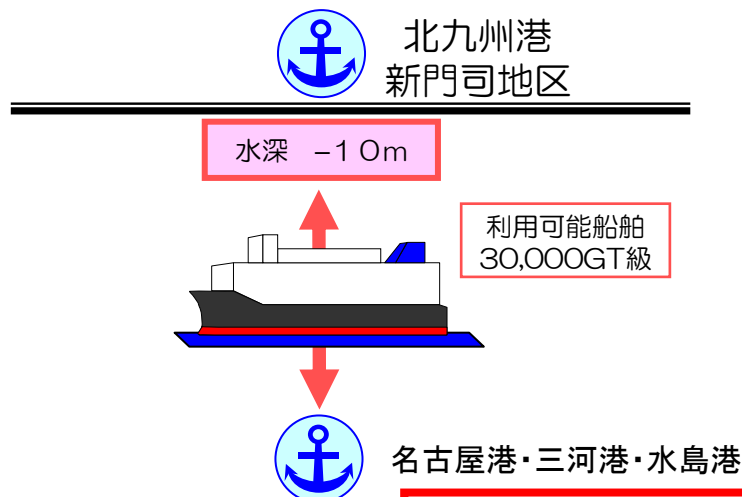
主な貨物：完成自動車

輸送コスト **285.7**億円/年



With時： 30,000GT級船舶を利用

輸送コスト **269.8**億円/年



輸送コスト削減額 **15.9**億円/年

北九州港 新門司地区

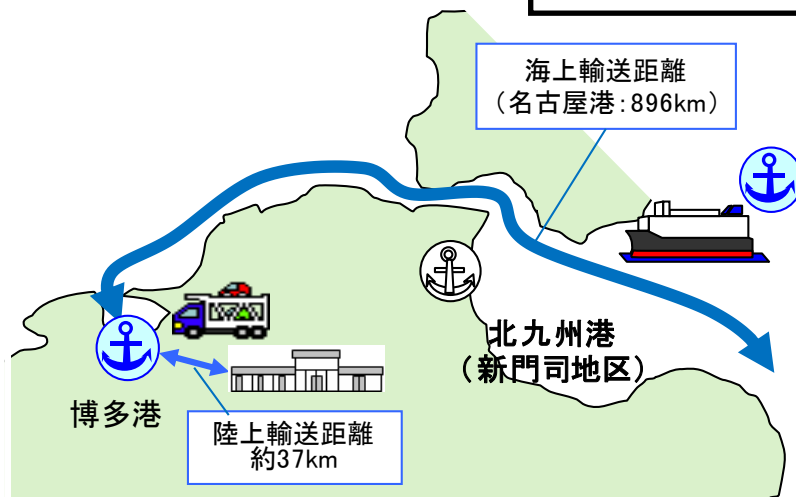
複合一貫輸送ターミナルの整備

ターミナルを整備することにより、輸送距離及び輸送時間が短縮され、輸送コストの削減が図られる。

Without時：博多港を利用

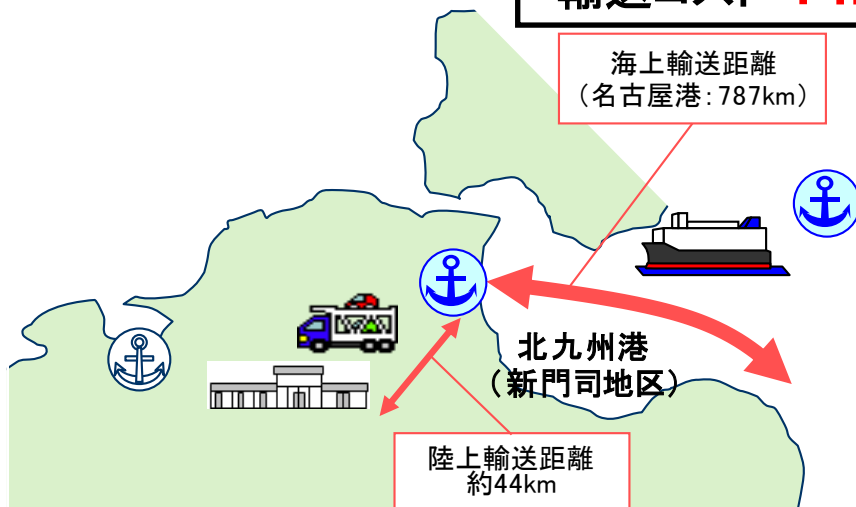
主な貨物：自動車部品

輸送コスト **15.9**億円/年



With時：北九州港(新門司地区)を利用

輸送コスト **14.6**億円/年



※平成26年度の便益について例示

輸送コスト削減額 **1.3**億円/年

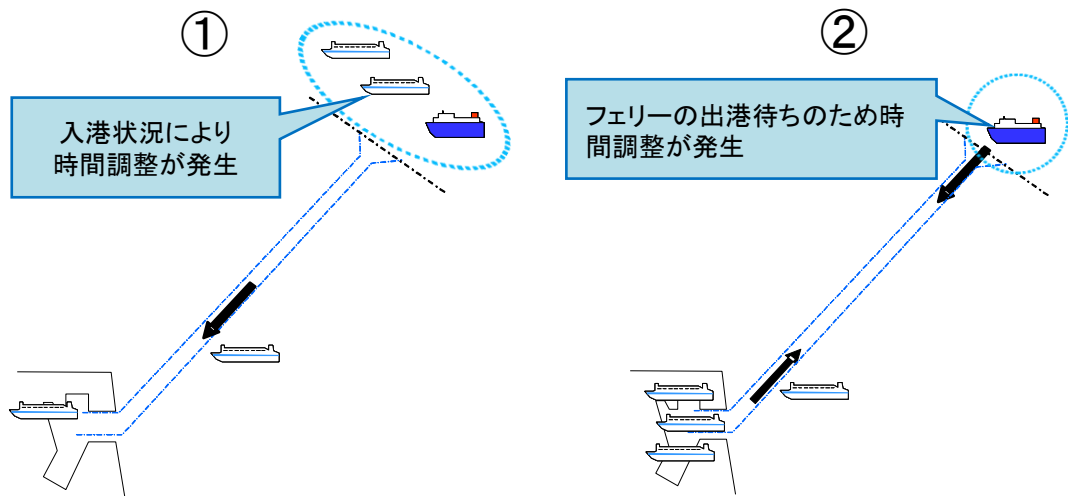
北九州港 新門司地区 複合一貫輸送ターミナルの整備

航路(400m)を整備することにより、航路の行き会い調整が解消され、滞船に伴うコストの削減が図られる。

Without時：航路(300m)を利用

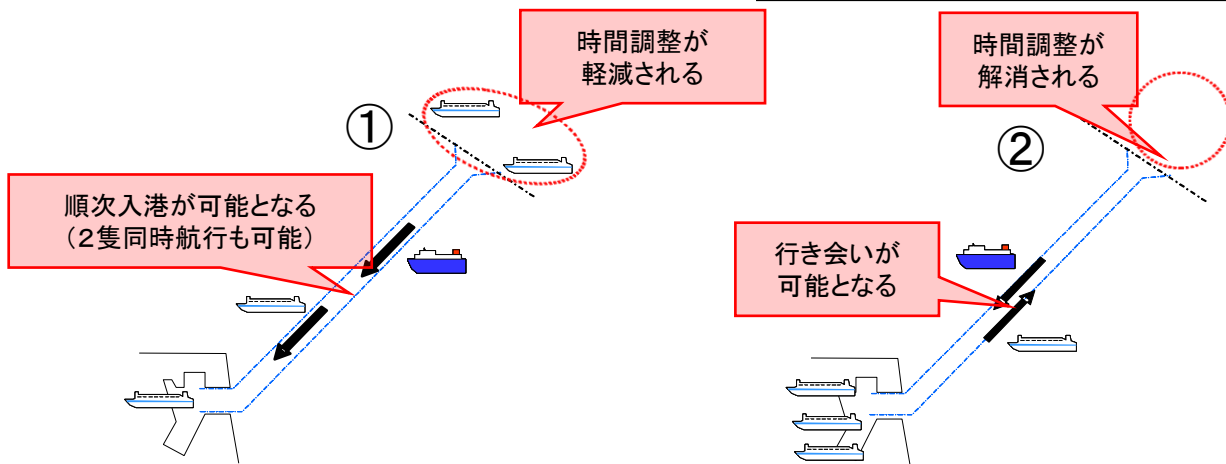
主な貨物：完成自動車

輸送コスト **0.7**億円/年



With時：航路(400m)を利用

輸送コスト **0.0**億円/年



輸送コスト削減額 **0.7**億円/年

北九州港 新門司地区

複合一貫輸送ターミナルの整備

ターミナルを整備することにより、新規航路を開設して(モーダルシフト)、輸送効率化及び輸送コストの削減が図られる。

Without時： 陸上をトラック輸送

主な貨物：雑貨便(宅配便)

輸送コスト **332.7**億円/年



With時： 北九州港(新門司地区)を利用

輸送コスト **212.0**億円/年



輸送コスト削減額 **120.7**億円/年

北九州港 新門司地区

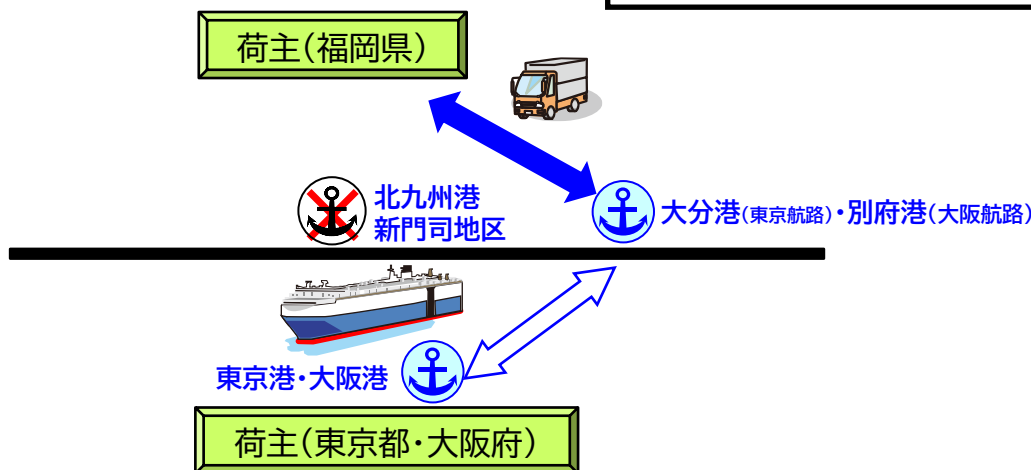
複合一貫輸送ターミナルの整備

ターミナルを整備することにより、新規航路を開設して(モーダルシフト)、輸送効率化及び輸送コストの削減が図られる。

Without時： 大分港・別府港を利用

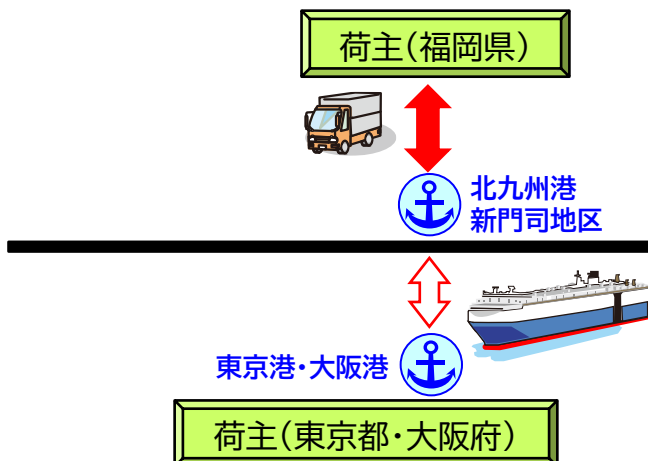
主な貨物：RORO貨物

輸送コスト **211.9**億円/年



With時： 北九州港(新門司地区)を利用

輸送コスト **195.5**億円/年



輸送コスト削減額 **16.4**億円/年

北九州港 新門司地区

複合一貫輸送ターミナルの整備

岸壁を耐震化することにより、震災時におけるRORO貨物の輸送コストの増大を回避できる。

Without時：大分港・別府港を利用

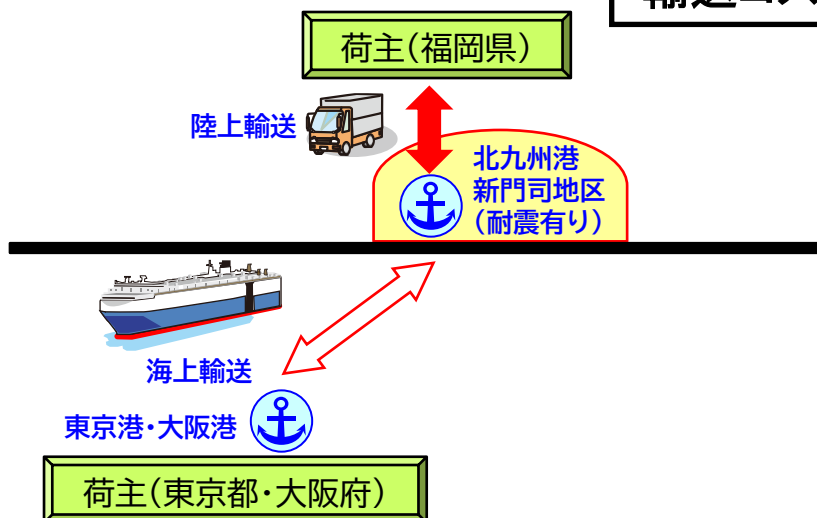
主な貨物：RORO貨物

輸送コスト **211.9**億円/年



With時：北九州港(新門司地区)を利用

輸送コスト **195.5**億円/年



※地震発生確率考慮前

輸送コスト増大回避額 **16.4**億円/年

北九州港 新門司地区

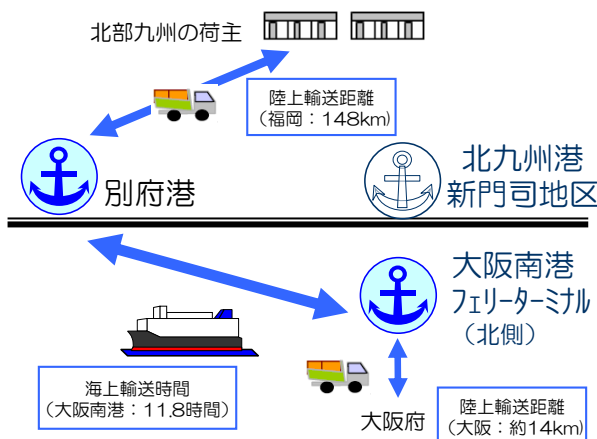
複合一貫輸送ターミナルの整備

岸壁を耐震改良することにより、震災時における一般貨物の輸送コストの増大を回避できる。

Without時： 別府港を利用

主な貨物：フェリー貨物

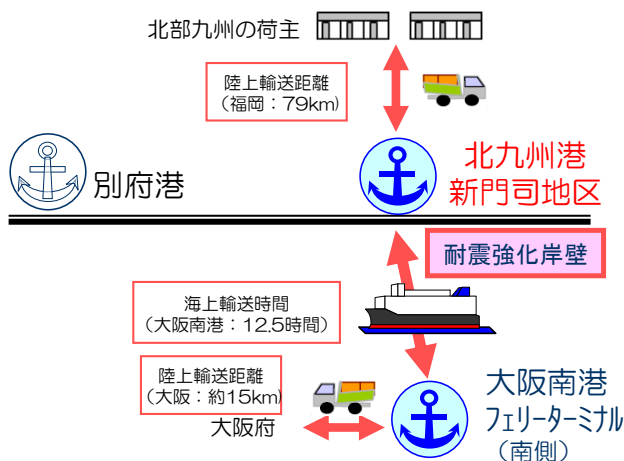
輸送コスト **484.0**億円/年



※福岡県の貨物流動について例示

With時： 北九州港(新門司地区)を利用

輸送コスト **432.9**億円/年



※福岡県の貨物流動について例示

※地震発生確率考慮前

輸送コスト増大回避額 **51.1**億円/年

北九州港 新門司地区 複合一貫輸送ターミナルの整備

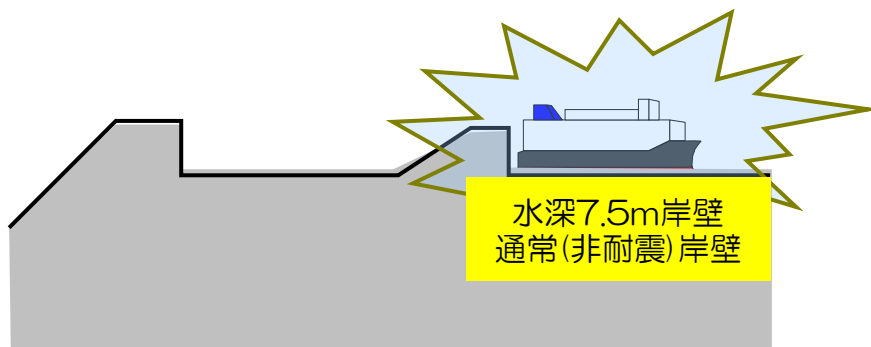
岸壁を耐震改良することにより、震災時の施設被害が回避され、施設の継続利用が可能となる。

Without時： 別府港を利用

施設被害による復旧費用 **22.6**億円/年

震災により、港湾施設が損壊

復旧費用の発生

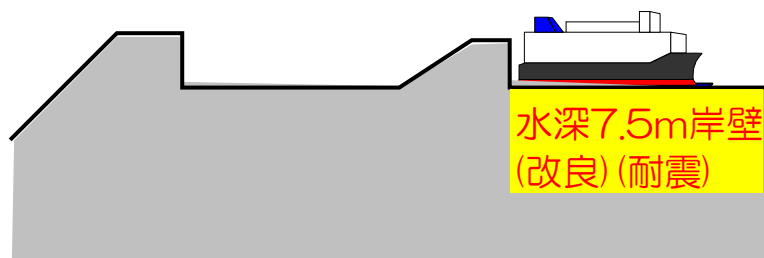


With時： 北九州港(新門司地区)を利用

施設被害による復旧費用 **0.0**億円/年

港湾施設の損壊を回避

復旧費用の支出回避



※地震発生確率考慮前

輸送コスト削減額 **22.6**億円/年